

2009年4月1日

2009年度入社式 社長挨拶（要旨）

株式会社日立ハイテクノロジーズ
執行役社長 大林 秀仁

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。
本日、入社式を迎えられました皆さんを心から歓迎申し上げます。

さて、昨年のリーマン・ショック以降、世界経済は百年に一度と言われる混乱期を迎えています。当社も例外ではなく、きわめて厳しい経営環境の中にあります。これを克服するため、現在強い危機感の中、『事業構造改革』を積極的に推進しています。今年入社された皆さんの若い力と共に、この危機を乗り越えて行きたいと考えています。

企業が社会の一員として企業活動を行うに当たっては、その基盤となる『企業ビジョン』が重要です。社員全員がそれをしっかりと理解し共有するために、当社では「日立ハイテクノロジーズ・企業ビジョン」を制定しています。

『ハイテック・ソリューション事業におけるグローバルトップを目指す』ことが当社の『企業ビジョン・目標』です。この目標を実現するために、市場ニーズを先取りし、お客様が必要としている問題への解決策を積極的に提案していくことが最も大切です。常にお客様のことを第一に考えて仕事をする、これを顧客第一主義と申しますが、これがビジネスの原点です。当社が誇る世界トップレベルの技術と、グローバルに展開している優れた営業力、サービス力がこれを支えています。

ここで、新入社員の皆さんに期待していることを4点お話ししたいと思います。

1. 「大きな志を持ってチャレンジする」
2. 「プロとして、真の国際人を目指せ」
3. 「人との出会いを大切にする」
4. 「基本と正道に従う」

1. 「大きな志を持ってチャレンジする」

皆さんはそれぞれ大きな夢を持っていると思います。『志』と言い換えてもよいでしょう。日立ハイテックを舞台にしてその『志』を実現するため思う存分活躍していただきたい。ところでこの夢を実現するためには、今の自分にどういう力が必要なのか、どちらの方向に進むべきなのかを正しく判断しなければなりません。自分自身でとことん考えると同時に、周りの人々の意見に謙虚に耳を傾け、客観的に自分の『立ち位置』を把握することが『大きな志』の実現につながる大事なポイントだと考えています。これを押さえた上で、新しいことに果敢にチャレンジしていただきたい。私は、失敗を恐れずに挑戦する姿勢をポジティブに評価します。

2.「プロとして、真の国際人を目指せ」

当社の連結取引高の約 50%は海外ビジネスによるものです。グローバルに仕事を行うために、コミュニケーションのツールとして語学は必須のものです。それだけでは満足のいく仕事はできません。基本には相手の国や個人を理解し尊重する態度が必要です。その上に立って自分の担当する仕事について、プロとしての知識と見識を身に付けていただきたい。配属時の業務内容に関わらず、将来は海外に出て行って仕事をしていただく機会も非常に多くあります。その時のために、常日頃から『真の国際人』を目指してグローバルな視点を養い、いつでも世界という大きな舞台で活躍できるように自己研鑽をお願いいたします。

3.「人との出会いを大切にす」

私は人生（社会）で最も大切なことの一つは『人との出会い』であると思います。新しい出会いが視野を広げ、可能性を広げ、さらには楽しみを広げて皆さんが成長するきっかけを与えてくれます。今日この場で出会った仲間たち、これから出会う人々を大切に心に刻んでいただきたいと思います。これが皆さんの社会人としての、また、人としての財産になっていくのです。皆さんは、営業、設計、製造、管理部門と、それぞれ現場の第一線に配属されます。そこでは、沢山の人との出会いが待っています。与えられた現場での出会いを大切に、そこで汗をかき、当社の新しい時代を切り拓いていくことを希望します。

4.「基本と正道に従う」

社会人として法律や倫理・道徳を守ることは当然のことですが、さらに当社の社員として、時代がどう変わってもしっかりと守っていくべき基本となるものを大事にし、常に正しい道を歩むことが求められます。如何なる場合にあって常にも『損得よりも善悪』という基本に従って物事を判断して下さい。また、皆さん一人ひとりが当社の看板を背負っていることを常に意識し、ビジネスでも、私生活においても、それにふさわしい行動をしていただきたいと思います。

以上、4つのお願いとして、「夢・プロ・出会いと正道」について申し上げました。これらをまとめて言えば、皆さんに当社の将来の成長を託し、大きな期待をしているということです。

皆さんが当社にあって大いに活躍され、当社の発展に貢献していただくことをお願いすると同時に、一人ひとりの人生目標を実現し、明るく健康で実りある人生を送られますことを祈念し、私の歓迎の挨拶といたします。

お問い合わせ先

社長室 広報・IRグループ 担当：塩澤

TEL：03-3504-5637